

講義名	課題演習（流通・マーケティング演習）			授業形態	
担当教員	秦 洋二	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 5 時限		
		単位数	0	履修開始年次	1 年生

主題と概要

本演習では修士論文の作成を視野に入れて、受講者が各自の研究テーマを選定し、文献レビューを行う。毎回、数名の受講者がプレゼンテーションを行い、その内容を元に議論を行う。

到達目標

修士論文のテーマを決定するために、自身の研究関心を深化させる。関連する先行研究を渉猟し、自身の研究テーマの周辺でどのような議論が行われているかを理解する。

提出課題

発表者はレジュメを作成し、全員に配布する。
期末レポートを実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義中に適宜解説を行う。

評価の基準

- ・授業中のプレゼンテーション（30%）
- ・中間レポート（20%）
- ・期末レポート（50%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・大学院生としての自覚を持ち、研究活動に邁進してください。
- ・お互いに成長できるよう、積極的に意見を交換しましょう。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

参考文献は講義中に適宜指示する。

授業計画

1. ガイダンス
2. 先行研究の発表と議論
3. 先行研究の発表と議論
4. 先行研究の発表と議論
5. 先行研究の発表と議論
6. 先行研究の発表と議論
7. 先行研究の発表と議論
8. 先行研究の発表と議論
9. 先行研究の発表と議論
10. 先行研究の発表と議論
11. 先行研究の発表と議論
12. 先行研究の発表と議論
13. 先行研究の発表と議論
14. 先行研究の発表と議論
15. 先行研究の発表と議論

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：自身の関心に沿った文献を渉猟し、レジュメを作成する（2時間）
復習：授業中の議論の要点を整理し、関連文献をさらに収集する（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、特に本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において講義を構成している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

学生同士の積極的な討議によって講義を進める。

実務経験の有無及び活用

備考